

青森県景気ウォッチャー調査

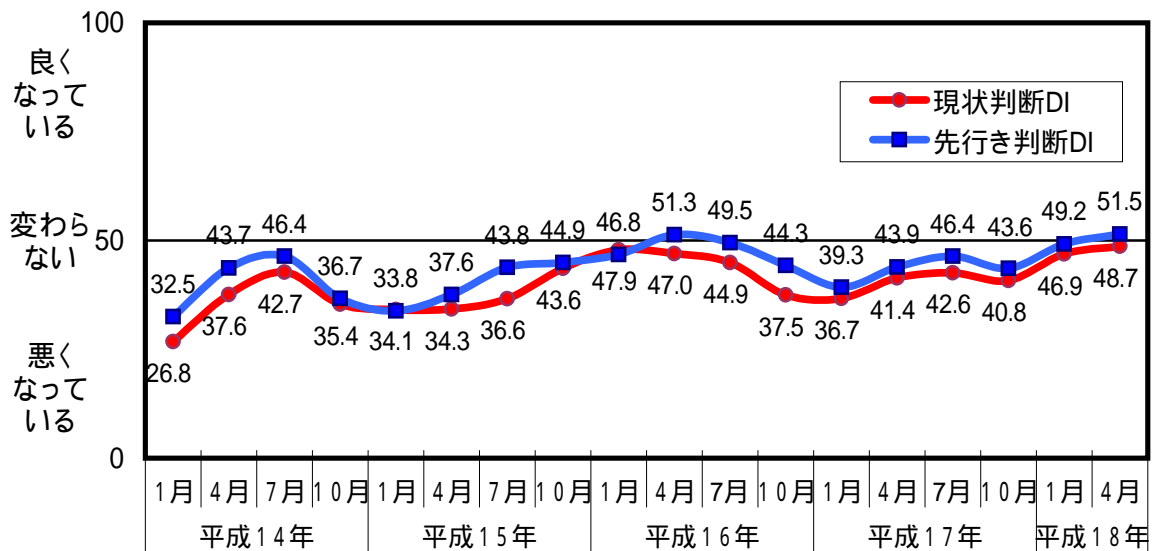
(平成18年4月期)

調査期間 平成18年4月1日～4月20日 回答率98%

概況

4月期は、現状判断DI、先行き判断DIともに上昇し、現状判断DIは横ばいを示す50を依然として下回っているものの、先行き判断DIは平成16年4月期以来8期ぶりに50を上回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成18年5月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2188)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が1.6ポイント増加し、「悪くなっている」が4.3ポイント減少したことにより、全体では1.8ポイント増の48.7となり、引き続き横ばいを示す50を下回っているものの、2期連続で増加した。</p> <p>判断理由をみると、金利の上昇に伴う駆け込み需要による消費拡大や、客単価の上昇などから景気の上向き感が見られるとする声がある反面、公共工事の減少による影響をあげる声も見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、企業関連で6.9ポイント増加した。 家計関連では、住宅については16.7ポイントと大幅に増加しているが、小売については3.5ポイント減となり、0.8ポイントの増加にとどまった。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、東青、下北地区でポイントが増加した。特に下北地区では15.0ポイントと大幅に増加した。 一方、津軽地区においては、前期調査に比べて「変わらない」が12.9ポイント減少し、「やや悪くなっている」が10.1ポイント増加したため、4.2ポイントの減少となった。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなる」が8.8ポイント増加し、「変わらない」が6.3ポイント減少していることにより、全体では2.3ポイント増の51.5となり、平成16年4月期以来、8期ぶりに横ばいを示す50を上回った。</p> <p>判断理由を見ると、中央での景気回復の波及効果により、出荷量や消費、雇用状況にやや回復の兆しが見えることをあげる声や、桜祭りなど観光シーズンの幕開けに期待する声がある一方、原油高の影響を懸念する声や、景気回復の材料が見つからないとする声も見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連で3.1ポイント、企業関連で1.4ポイント増加した。一方、雇用関連では3.6ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、県内全地区でポイントが増加した。東青地区で53.3、県南地区で51.7、下北地区で52.5と、3地区において、横ばいを示す50を上回った。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=98

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	41.4	42.6	40.8	46.9	48.7
家計関連	39.7	43.8	39.7	46.8	47.6
小売	40.0	46.4	41.4	51.7	48.2
飲食	45.8	41.7	43.8	45.5	45.8
サービス	37.0	42.6	34.6	43.0	45.4
住宅	37.5	41.7	45.8	41.7	58.3
企業関連	47.1	40.3	47.2	47.2	54.2
雇用関連	46.4	35.7	35.7	46.4	46.4

回答別構成比(%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなっている	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	11.1	12.2	10.2	21.9	23.5
変わらない	52.5	53.1	54.1	52.1	52.0
やや悪くなっている	23.2	23.5	24.5	17.7	20.4
悪くなっている	12.1	10.2	11.2	8.3	4.1

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=98

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	43.9	46.4	43.6	49.2	51.5
家計関連	43.7	45.9	42.8	47.5	50.7
小売	41.7	45.5	41.4	46.6	52.7
飲食	43.8	50.0	39.6	50.0	47.9
サービス	44.4	47.2	46.2	49.0	50.9
住宅	50.0	33.3	41.7	41.7	45.8
企業関連	42.6	45.8	48.6	55.6	56.9
雇用関連	50.0	53.6	39.3	50.0	46.4

回答別構成比(%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなる	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0
やや良くなる	9.1	14.3	16.3	20.8	29.6
変わらない	63.6	60.2	50.0	56.3	50.0
やや悪くなる	17.2	22.4	25.5	17.7	17.3
悪くなる	9.1	3.1	8.2	4.2	3.1

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	41.7	42.2	40.5	48.3	53.3
家計関連	40.2	40.9	39.8	48.9	52.2
小売	41.7	50.0	47.2	61.1	55.6
飲食	33.3	25.0	33.3	50.0	50.0
サービス	41.7	36.1	34.4	34.4	47.2
住宅	37.5	50.0	37.5	50.0	62.5
企業関連	50.0	50.0	43.8	56.3	62.5
雇用関連	41.7	41.7	41.7	33.3	50.0

回答別構成比 (%)

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	13.8	10.3	31.0	33.3
変わらない	60.0	48.3	51.7	41.4	50.0
やや悪くなっている	16.7	31.0	27.6	17.2	13.3
悪くなっている	13.3	6.9	10.3	10.3	3.3

< 津軽地区 >

DI

n=29

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	39.2	48.3	40.5	47.3	43.1
家計関連	38.6	51.2	38.1	47.5	42.9
小売	33.3	53.1	31.3	43.8	40.6
飲食	66.7	58.3	50.0	50.0	50.0
サービス	37.5	53.1	37.5	53.6	40.6
住宅	25.0	25.0	50.0	37.5	50.0
企業関連	41.7	41.7	50.0	45.8	45.8
雇用関連	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5

回答別構成比 (%)

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
良くなっている	3.3	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	6.9	6.9	10.7	10.3
変わらない	43.3	72.4	55.2	75.0	62.1
やや悪くなっている	26.7	13.8	31.0	7.1	17.2
悪くなっている	16.7	3.4	6.9	7.1	10.3

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.7	42.5	45.8	48.3	48.3
家計関連	42.9	45.2	45.2	48.8	46.3
小売	44.4	44.4	47.2	52.8	43.8
飲食	41.7	41.7	50.0	37.5	33.3
サービス	39.3	46.4	39.3	50.0	50.0
住宅	50.0	50.0	50.0	37.5	62.5
企業関連	50.0	39.3	53.6	42.9	53.6
雇用関連	62.5	25.0	25.0	62.5	50.0

回答別構成比 (%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	13.8	13.3	16.7	24.1	24.1
変わらない	55.2	50.0	56.7	48.3	44.8
やや悪くなっている	31.0	30.0	20.0	24.1	31.0
悪くなっている	0.0	6.7	6.7	3.4	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	35.0	27.5	27.5	37.5	52.5
家計関連	33.3	30.6	30.6	36.1	50.0
小売	41.7	25.0	33.3	41.7	58.3
飲食	41.7	41.7	41.7	41.7	50.0
サービス	16.7	25.0	16.7	25.0	41.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	0.0	0.0	50.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	20.0	0.0	20.0	30.0
変わらない	50.0	20.0	50.0	30.0	50.0
やや悪くなっている	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0
悪くなっている	30.0	50.0	40.0	20.0	0.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.0	46.6	43.1	51.7	53.3
家計関連	42.4	44.3	42.0	52.3	52.2
小売	44.4	43.8	47.2	58.3	55.6
飲食	33.3	58.3	50.0	66.7	58.3
サービス	41.7	41.7	34.4	40.6	47.2
住宅	50.0	37.5	37.5	50.0	50.0
企業関連	56.3	50.0	56.3	56.3	68.8
雇用関連	50.0	58.3	33.3	41.7	41.7

回答別構成比 (%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなる	3.3	0.0	0.0	3.4	0.0
やや良くなる	3.3	13.8	10.3	24.1	36.7
変わらない	73.3	62.1	62.1	51.7	43.3
やや悪くなる	10.0	20.7	17.2	17.2	16.7
悪くなる	10.0	3.4	10.3	3.4	3.3

< 津軽地区 >

DI

n=29

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.0	45.7	44.0	47.3	49.1
家計関連	46.6	46.4	41.7	45.0	48.8
小売	38.9	46.9	34.4	40.6	46.9
飲食	50.0	58.3	33.3	50.0	41.7
サービス	53.1	50.0	53.1	50.0	53.1
住宅	50.0	12.5	37.5	37.5	50.0
企業関連	37.5	41.7	54.2	54.2	50.0
雇用関連	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	13.8	13.8	14.3	24.1
変わらない	56.7	58.6	51.7	64.3	51.7
やや悪くなる	16.7	24.1	31.0	17.9	20.7
悪くなる	10.0	3.4	3.4	3.6	3.4

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	41.4	46.7	48.3	50.9	51.7
家計関連	42.9	46.4	48.8	47.5	51.3
小売	38.9	44.4	47.2	44.4	56.3
飲食	41.7	41.7	41.7	37.5	50.0
サービス	46.4	50.0	53.6	57.1	50.0
住宅	50.0	50.0	50.0	37.5	37.5
企業関連	33.3	46.4	46.4	57.1	53.6
雇用関連	50.0	50.0	50.0	62.5	50.0

回答別構成比 (%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	0.0	16.7	26.7	27.6	27.6
変わらない	69.0	53.3	40.0	51.7	51.7
やや悪くなる	27.6	30.0	33.3	17.2	20.7
悪くなる	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成17年	平成17年	平成17年	平成18年	平成18年
	4月	7月	10月	1月	4月
合 計	45.0	47.5	30.0	42.5	52.5
家計関連	41.7	47.2	33.3	41.7	50.0
小売	50.0	50.0	25.0	33.3	50.0
飲食	50.0	41.7	33.3	41.7	41.7
サービス	25.0	50.0	41.7	50.0	58.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	0.0	50.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成17年 4月	平成17年 7月	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	10.0	10.0	10.0	30.0
変わらない	40.0	80.0	40.0	60.0	60.0
やや悪くなる	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0
悪くなる	20.0	10.0	40.0	10.0	10.0

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良い	家計	東青	観光名所等	1月に比べ、県内外のお客が増えてきた。
			パチンコ	やや良くなっているように感じられる。
			百貨店	実用衣料よりファッション衣料が好調。
			住宅建設販売	預金金利の上昇、住宅ローン金利の上昇による住宅購入の駆け込み需要等による消費拡大。
			家電量販店	前3ヶ月（H17.10～17.12）比では、マイナスであるが、対前年比較ではプラス。除雪関連が好調で、日用雑貨、カー用品も幾分回復してきた。
			レストラン	飲食業は決して良くなっていない。毎日自分なりに努力してがんばっております。
			乗用車販売	・販売量の増加 ・フリー来店客の増加
		津軽	百貨店	お客様の入店客数がイベントの内容にもよりますが、少しずつ増えているようです。又、客単価も少しずつ上向きになっている。
			美容院	前期は大雪もあり出足に難があったが、卒業・入学の季節でもありイメージチェンジに最適
		県南	乗用車販売	預金金利が若干上がり景気が確実に上向き状態に有ると思う。
			美容院	卒業、入学、入社など、人の移動の多い時期のせいか、買物の話をたくさん耳にすると、気持ちが楽しくゆとりを感じて来ます。困った話よりも積極的に会話も世間を明るくしています。
			一般小売店	東京都内の有名デパートの紳士服売場では、スーツのボリュームゾーンが昨年6万円前後だったのが、8万円くらいまであがっているようだ。自分の店でも以前より単価の高い物が動き始めているようだ。
			観光型ホテル・旅館	旅行業の予約状況より。
			住宅建設販売	冬場の時期は、住宅に対する意識が低く、春になってからだいぶ動いてきているため。
	下北	コンビニ	多少高い商品でも欲しい物にはお金を出す人が増えてきた。	
		都市型ホテル	閑散期も終わり、春に向けて、宴会が少し増加して来たように思われる。	
	企業	東青	建設	全国的には夙に回復し、一部の地域とか多数の業種にあってはバブルの再来かといわれる状況になっている。その波及効果がようやく顕現化されて来たと思える。建築工事については、小口化しているものの引合は増加傾向を見せている。
			食料品製造	大都市向けの出荷量が増加傾向にある。
		県南	経営コンサルタント	大企業関連の業種が良くなっている。景気の底打ち感が出てきた。但し、公共事業や中小販売業が低迷している。
			電気機械製造	仕事が多く、さらに東海地区でやりきれない仕事に移管されてきているため、この先も仕事の拡大が見込まれる。
下北		食料品製造	やっと冬も終わり、観光シーズンに入る為。	
雇用		東青	人材派遣	短時間勤務から、フルパート又は直採用への切替が増加している。又、スポット的需要も増加した。

どちらとも言えない	家計	東青	コンビニ	他の都市及び他県では、景気回復の話がよく耳に聞こえてきますが、青森市のことは誰も上向きと答えてくれない。企業の方々の話をきくと、また、さらにリストラが進んでいる様です。
			スーパー	不在住民といわれる方達が青森市だけで4000人を超える。春に戻るのか、不確定な要素が大きい。
			卸売業	新聞・テレビ等では回復傾向と言われておりますが、食品業界にはまだ実感が無い。
			競輪場	首都圏では景気が上向きと聞くが、青森では景気の上昇気配が感じられない。
			ガソリンスタンド	事業撤退する企業が散見し、顧客数が減少している。
			商店街	家計に余裕のなさから、消費回復には慎重になっている。
			設計事務所	建築物件が増えていない。
			都市型ホテル	1月に比べ、県内外のお客が増えてきた。
			スナック	首都圏また東海地域などは良い様ですが、北東北に関しては、まだ変化がないと思います。
			美容院	国が発表している景気の上向きに対して、お客様は、まだ実感できず、不安をいただいている。
			観光型ホテル・旅館	取引先からの全般的意見、売上高推移および経済動向調査より
	津軽	スーパー	来店客数は前年の98%ですが、客単価、一品単価がおよそ95%と低い。競合店も増え買い回りの影響と思われます。	
		スナック	客足は変わっていないが、一人当たりの売り上げ単価が落ち込んでいます。	
		レストラン	年未年始がヒマだったので	
		衣料専門店	中央に較べて弘前他の景気悪い。又、郊外の大手にお客が流れている。	
		一般飲食店	景気回復の材料がないので。	
		家電量販店	主力のテレビ(液晶、プラズマ)の動きが少しよくなってはきているが、まだまだ本格的ではない。	
		ガソリンスタンド	当方はガソリンスタンドだが、建設・土建業に納入する軽油の数量の落ち込みがひどくなっている。	
		商店街	売上の的にも来街者数の状況からみても良い傾向は見受けられないが、高校入試発表後は多少買い物客で賑わった。しかし例年の事なので昨年と比較して喜ばしい状況ではなかった。	
		旅行代理店	業種間の格差が増々感じられる。(優良企業も増えていますが)	
		設計事務所	建築関連の公共事業が極端に少ない現状では同業種に対して先が見えない。	
		都市型ホテル	一宴会での客数減少と消費単価伸び悩みの傾向に変化がない。	
	県南	レストラン	中央の景気回復傾向が、地方にまで波及していない。	
		ガソリンスタンド	どの業界から話を聞いても、良い話はない。	
		設計事務所	当地域では郊外型大規模店舗の出店が続き、地元商店街がダメージを受けている。基幹産業の建設業も公共工事の削減により影響を受けている。	
		旅行代理店	実態回復が進んでいると感じられるかと言えば、ノーと言わざるを得ないが、回復兆しへの期待感が強く出てきていることは確かである。	

どちらとも言えない	家計	県南	商店街	景気が上向いてきているとの見方もあるが、当地では実感が無く実体としてもあらわれてきていない。	
			卸売業	都市部では景気が良くなっているが、地方は依然として厳しく、利益を確保することが競争等によりむずかしい状態が続いている。	
		下北	スーパー	売上、客数共に1月の傾向値に変化がみられない。	
			レストラン	異動時期、歓送迎会で客足はまずまずでしたが、スナックへの足はまいちとの声。	
			一般小売店	異業種の方とよく話をしますが、仕事が無いという話をよく聞きます（建築、建設）。3次産業の多いむつ市は土木・大工の景気が良くなると、お金回りは良くなりません。農業・漁業だけでなく、大きな工場でもあればいいのですが…。	
			一般飲食店	相変わらず不景気だからです。	
			スナック	多少良くなることも感じられる。	
	企業	東青	広告・デザイン	当社は広告全般を取り扱っている広告会社ですが、新聞広告の出稿が良くないため。（当社は新聞広告の比率が高いため影響が大きい）	
			経営コンサルタント	卸、小売業に回復の動きがあるものの、建設関係は依然不振であり、全体としては足踏み状態にあると見る。	
		津軽	電気機械製造	昨年度下期から受注が増加し、現在も高水準の受注を維持しているため。	
			飲料品製造	当地の景気は、上も下も感じられない。中道だと思う。	
			経営コンサルタント	確定申告の所得金額が、16年に比べ、あまり変わらなかった。	
		県南	広告・デザイン	仕事の量の減少は、目に見えて感じるどころ、さらに価格競争により、本来、質を重視すべき内容にもかかわらず価格で判断される場合が多くなってきた。	
			紙・パルプ製造	製品価格や資材価格という外部環境はやや厳しさを増しているが、概ね内部努力で吸収できる範囲に留まっているため。	
			食料品製造	県内の雇用状況が悪いまま推移しているため。	
			飲料品製造	5月1日清酒の酒税が減税となりますが、地方の中小生産者は価格据え置きという便乗値上げを選択せざるを得なかった。内側に向けてのコスト削減は限界に来てしまった。	
		雇用	東青	新聞社求人広告	ガソリンなど石油製品は下がる気配もなく、消費行動でも余裕がなくなっているのでは。
				津軽	人材派遣
			県南		人材派遣
				新聞社求人広告	12月、1月と冬物商戦などで上昇傾向が見られた小売関係が2月からは前年割れとなっている。
		やや悪い	家計	東青	衣料専門店
一般飲食店	今年も冬が長かったのが原因だと思う。				
旅行代理店	前年に比較しても取扱高が減少している。				
津軽	タクシー		年明けから、タクシーの需要が昨年対比を割り込み続けていて、期待がもてない状況が続いている。		
	観光名所等		東北地方は雪害影響		
	卸売業		製品出荷状況を見て。		

やや悪い	家計	津軽	一般小売店	1～3月期の売上前年比が100.3%と第3四半期と変わらない状態。良かった第1・2四半期に比べて悪い状況が続いている。
		県南	衣料専門店	3月迄は、いくらか明るい兆しも見えていましたが、4月に入り天候の影響なのか厳しい状況になっています。
			スーパー	マスコミ報道は景気は上向いているとっているが、県内は違う。やはり輸出産業他一部の産業が景気よいだけではないかと思えます。
			一般飲食店	天候等の要因もあるが、人出が少ない。その結果来客数の減少になっている。周囲をみても閉店など、暗い話題が多い。
			百貨店	中心商店街への来街者数が減少傾向。年配者の買い控えが見られる。
			タクシー	昨年末の忘年会等は期待したほどではなかったけれど、今回の移動による歓送迎会等も期待したほどではない。特に1次会だけで、2次会に行く人は少ない。
			コンビニ	・一昨年と比べ、大幅な気温低下に伴い、客数の出足が鈍っている。 ・まだ雪、雨の日が多く、土建業の休み多い。(自店での来店されている客層)
			観光名所等	1月、2月と売上げが昨年を上回って、期待していたら、3月はガツリ降下。彼岸が明けたとたんに売上げが減少。毎年今頃から売上げが上向くはずなのに…。
			スナック	今の商売を始めて25年になりますが、こんなに大変な年もないです。
		下北	タクシー	売上げの減少が続いている。
	ガソリンスタンド	どの業種のお客様も悪い話ばかりしている為。		
	企業	県南	建設	いよいよ資金調達ができなくなっている先、又、資産超のうちに縮小、廃業をする同業がでてきている。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	各企業、商店別でも前年割れの広告出稿状況が続いている。
悪い	家計	東青	タクシー	雪と寒さの影響で3ヶ月前の冬期間は対前年比に近いものがあつたが、路面がみえ暖かくなると自転車等に移行し利用客は年毎に減少の傾向にある。
		県南	観光型ホテル・旅館	三ヶ月前は年末と年始で一時的な売上げがあがったが、今は一年で一番オフシーズンなので。
			コンビニ	客単価の下落
	企業	津軽	広告・デザイン	年度末の受注高が予想以上に厳しく、公共工事激減の煽り。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良い	家計	東青	観光名所等	ねぶた祭りを控え、県外からの旅行客が少なくなると思うが、良くなることを期待して、選んだ。
			百貨店	昨年春頃から、売上基調が回復。
			スーパー	全国的に見れば、失業率の下降、株価上昇とか、明るい材料があり、地方にも波及すると思う。
			競輪場	期待を込めて開幕に向けて、売り上げ、入場者アップ。
			レストラン	冬、外出が少なかった分、外出する機会が増えるのでは。
			乗用車販売	フリー来店客の増加に伴い、購入意識が高まっていると感じられる。(1~2ヶ月後購入予定客が増えている。)
			家電量販店	対前年比較では売上も客数も伸びている。今後もこの状態で推移するものと考える。
			都市型ホテル	・金融機関金利上昇による(預金利率) ・雇用情勢-新年及中途採用(求人が増加して来ている)
	津軽		百貨店	宣伝媒体で表現された商品に対する反応が早い。商品の質、内容に慎重であるが、消費に対して以前と比較すれば良品については敏感に反応します。
			美容院	報道等による好景気感が、消費意欲を後押ししてくれそう。
			家電量販店	地上デジタル放送もはじまり、テレビ、DVD等デジタル商品の購入に期待。
			商店街	弘前桜祭りという全国的なイベントが開催されることから今の状況よりは改善が期待できる。
			観光型ホテル・旅館	三ヶ月先は高校の総体、野球東北高校大会、大学の体育学会とつづきますので期待できそうです。
	県南		レストラン	・求人状況が増えている為。 ・観光客がこれから増えていくと思われる為。
			乗用車販売	昨年と比べるとあまり暗い話題が少なくなってきたように感じる。法人のお客様も今年は期待して下さいと云ってくれている。
			衣料専門店	大きく景気が良くなるとは思えませんが、商店街による活性化の取り組みに少しは期待をかけたと思います。
			美容院	金利上昇気運により、金銭の価値観と動きが活性化して来やすいと思います。特に長期で大きい買い物がしやすくなるのは・・・心配なのは石油製品の変動です。
			一般小売店	マスコミの報道で継続して景気が上向きであると伝えている。個人の消費は単純に左右されやすい。
	下北		都市型ホテル	弘前の桜が1位になったようで、ツアー団体が増えるのでは・・・
			スナック	そろそろ底を打ったのかなという感じ。

やや良い	企業	東青	食料品製造	業界には依然として閉塞感が漂っていますが、出荷が増加している地域、商品の割合が、徐々にではあるが増えている。
			経営コンサルタント	卸、小売業は最悪期を脱しつつあるのではないかと、新年度を迎え建設業の落ち込みに歯止めのかかることを期待する。
		津軽	経営コンサルタント	弘前の場合、桜の開花の時期が26日頃なので、5月の連休に満開になれば、昨年同様相当の経済効果が見込まれる。
		県南	経営コンサルタント	日本全体の景気回復の影響があると思う。
			食料品製造	天候にもよるが、レジャーシーズンを向かえるにあたり、首都圏の景気が徐々に回復してきているため。
		下北	食料品製造	希望的な部分で。
	雇用	津軽	人材派遣	短時間、短期雇用契約ではあるが、昨年同期と比較して求人が若干増えている。求人企業も今後の労働力需要を見極められずにいるのだろうか。
どちらとも言えない	家計	東青	一般飲食店	辛抱して辛抱になれてしまった感じがします。
			パチンコ	・公共事業や民間企業の設備投資がみあたらない。 ・今の政策が地方切り捨てでないかと思う。
			住宅建設販売	経済政策のゼロ金利解除は今スタートしたばかり、3年間は変動なく様子見といった進行と思われる。
			商店街	日銀の量的金融緩和政策の解除による金利上昇も懸念されるなか、将来に備え、財布のヒモが固いままに映る。
			スナック	見当がつかえません。お花見の時期、又新緑の時期、県外観光客を期待したいです。又、地方のお客様も是非機会を作って下さい。
			ガソリンスタンド	仕事はあっても、受注価格は低下しつづけ、利幅が取れず、結果的に消費は低迷すると思われる。
			設計事務所	建設業界だけが浮上する事はありません。
			観光型ホテル・旅館	近頃の動きとしては、人が動く（行楽日）に宿泊等が集中してきており、オン日とオフ日が明確化してきていると思われる売上全体としては変わらないと思います。
		津軽	都市型ホテル	上向く好材料が見あたらない。好天が続けば客足が伸びるので期待。
			観光名所等	首都と地方の景気に大きなハンディ
			スーパー	過去3ヶ月間を見ても質問3と同じである。
			スナック	景気がよくなるという材料が見当たらない。
			一般飲食店	東京方面では景気が回復してきていると言っていますが、地方ではまだまだだと思えます。
	設計事務所		各マスコミで報道の通り、地域差がありすぎる。行政は中央にならっているでは、地方は取り残されるだけではないでしょうか。	
	旅行代理店	良い条件が見い出せない為このままで推移していくと思う。		

どちらとも 言えない	家計	県南	タクシー	行政側も経費を切り詰め、景気浮揚策も大したことはないので、なんとか現状維持できればと思う。	
			設計事務所	「まちづくり3法」や、行政の景気対策に期待したい処であるが、3ヶ月以内では無理だろうと思う。	
			スーパー	地場産業に輸出産業等少ない為。	
			旅行代理店	良くなっているとは思われないが、中央の景気回復基調の地方への波及期待から、回復期待ムードが先行し明るさが増していくと思われる。	
			ガソリンスタンド	原油が高止まりして、各産業ともコストアップになっている。	
			一般飲食店	一部だけ、やれバブル再来とさわいでいるが、ローカルではその逆で、景気の上向きどころか、景気は下降ぎみな感じがする。	
			百貨店	原油値上げ。各種増税。水産業、建設業等、景気の低迷。	
			卸売業	長期に亘り低迷が続いており、景気回復のきざしも見えなく、よりコストを重視した経営が続くと思われる。	
			商店街	新年度の公共事業、民間の設備投資に期待したいところではあるが、それも不透明で景気はあまり変わらないと思う。	
			下北	タクシー	希望的にみても売上げが上向きにならない状況が続いています。
	スーパー	地区に変動要素がみられない。			
	レストラン	お花見、ゴールデンウイーク期待しています。この先、景気の見通しつかめず。			
	一般小売店	これといって、景気がよくなる要因は見当たりません。ただ、原発、中間施設の建設が本格化してくれば、状況は今よりよくなるのでは？			
	ガソリンスタンド	良くなる要素がまるで無い様に感じる為。			
	コンビニ	地方経済が良くなるには、まだ時間がかかると思うので。			
	企業	東青	広告・デザイン	青森県の失業率が高いため、つまり、就職率が低すぎる。	
			津軽	電気機械製造	ワールドカップも控えており、特に悪くなる要因も見あたらないから。
				飲料品製造	昨年の農作物の影響から見て、この先しばらくは変化ないと思う。
		県南	電気機械製造	今と変わらず多少良い状況であると思う。急激な変化はいろいろな方面に影響をおよぼすので、順次生産拠点を動かすなどの動きが、この先1年に渡って続くと考える。	
			広告・デザイン	起業する数も多いが、トラブルや倒産が多く、仕事は欲しいが、取引も考えてしまう。	
飲料品製造			夕方、酒飯店で商談中、大勢のお客様がいらっしゃいました。皆様勤めを終えた役所の方でした。民間の人達、パチンコ屋さんに直行したのかい？		
紙・パルプ製造			輸入木材チップ等の資材価格上昇が見込まれるが、業界各社で製品価格修正を打ち出しており、これの実現度合いにより好転も悪化もあり得る。		
雇用		東青	人材派遣	零細企業が多く、産業基盤が軟弱な本県では早急な改善はあまり望めない。	
	新聞社求人広告		好転する材料が見当たらない。県内の求人広告も横ばい状態。		

どちらとも 言えない	雇用	県南	人材派遣	県外からの求人申込はあるものの、地元からの求人は活発化が見られない為。	
			新聞社求人 広告	不動産、小売業、求人広告など回復傾向が見られたりするが、なかなか継続してくれない。	
やや悪い	家計	東青	衣料専門店	団塊の世代の退職が次々つつづき、年金生活に入ることから、「おしゃれ」に関心が薄くなっているような気がする。	
			卸売業	オーバーストア 高齢少子化 食品業界は景気に左右されることが少ない	
			旅行代理店	受注状況が芳しくない。	
			美容院	来店周期が以前より低くなっているため、まだまだ低迷している感じがします。	
		津軽	タクシー	ガソリン、軽油、LPGガスの燃料費が依然高止まりの状況が続くとみられ、楽観できない。	
			レストラン	時期なもの	
			卸売業	当社は建設業界の比重が多く今後も回復する見通しが無い為。	
		県南	観光名所等	1月、2月に比べて、3月は、客数はあるが、ひとり当たりの買い物金額が少ない。安いものばかり売れている。	
			住宅建設販売	給与ベースアップの時期ではあるが、下がる話はよく聞かすが、上がる話はあまり聞かえてこない。	
			スナック	良くなるという好材が無い。	
			コンビニ	情報から、明確ではないも、免証品等の値上げ（タバコ？）や、ガソリン等も値が下がる見込みが見られてこない為。	
		企業	津軽	広告・デザイン	見積依頼件数が減少している。
			県南	建設	増々の財政難による公共工事の縮小
雇用	津軽	新聞社求人 広告	広告の多様化でパイの奪い合いの状況が長期低迷に一層拍車をかけているように思える。		
悪い	家計	東青	タクシー	NPO等介護輸送が新たなライバルと成り得る。営収に影響が将来出てくる。中央では景気回復があり上向き方向とあるが、低所得の本県の先行がなかなか見えぬ。景気低迷に我慢の運営をしていた企業の限界の崩壊が始まるのではないかと。	
		津軽	コンビニ	デフレ脱却の兆しが無い。	
		下北	一般飲食店	先が見えないからです。	

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=98

	平成 1 7 年	平成 1 7 年	平成 1 7 年	平成 1 8 年	平成 1 8 年
	4 月	7 月	1 0 月	1 月	4 月
合 計	25.3	26.5	24.2	33.3	34.2
家計関連	26.3	27.4	23.6	33.5	34.9
小売	28.3	30.4	25.0	36.2	42.0
飲食	27.1	22.9	18.8	36.4	29.2
サービス	24.1	28.7	24.0	29.0	32.4
住宅	25.0	16.7	25.0	33.3	25.0
企業関連	23.5	25.0	26.4	31.9	34.7
雇用関連	17.9	21.4	25.0	35.7	25.0

回答別構成比 (%)

	平成 1 7 年 4 月	平成 1 7 年 7 月	平成 1 7 年 1 0 月	平成 1 8 年 1 月	平成 1 8 年 4 月
良い	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	4.0	4.1	3.1	11.5	10.2
どちらとも言えない	28.3	25.5	26.5	34.4	38.8
やや悪い	32.3	38.8	34.7	30.2	28.6
悪い	35.4	30.6	35.7	24.0	22.4

地区別 D I

	平成 1 7 年	平成 1 7 年	平成 1 7 年	平成 1 8 年	平成 1 8 年
	4 月	7 月	1 0 月	1 月	4 月
合 計	25.3	26.5	24.2	33.3	34.2
東青	24.2	28.4	22.4	34.5	35.0
津軽	25.8	28.4	25.9	33.0	33.6
県南	27.6	25.8	27.5	36.2	34.5
下北	20.0	17.5	15.0	22.5	32.5

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	商売をやっている方の話の中で、良い悪いの企業がはっきりわかれている様に感じられます。そんな中で、いろんな商品の価格が低下し、スーパーとコンビニの価格差は更に増えています。いろんな意味で競合が増えていく中で、既存者の生き残りは更に厳しさを増している様な気がします。
		衣料専門店	2000年の「大店法」の見直し、改正が失敗であったことがハッキリしてきた。中心商店街の衰退は、政治の責任であり、地方都市においては、大型店出店の規制は必要だ。
		家電量販店	業界の競争はますます激化。今後新たな県外企業の進出も予測され、顧客のニーズに応えた仕事の重要性を認識している。
		スナック	役所の方達に頑張って会合に(二次会)参加してほしい。
		都市型ホテル	・地元企業のリストラ以前より落ちついているようだ。 ・但し官公庁経費圧縮節減により、今後も販売好転はあまり期待できない。
		観光名所等	インバウンドの増加に伴い、国外のお客様に喜ばれる青森にするよう、県民1人1人の努力が必要だと思う。
		旅行代理店	景気がよくなりそうな気運はあるが、いろいろな数字はやはり減少。
		タクシー	燃料費のUPが大きい。利益を大きく喰っている。4月以降の改善を期待する。
	美容院	業界の中で、低料金化が進んできている。現状を見ると、まだまだ景気が上向いているとは実感できない。	
	津軽	百貨店	良質商品、単価が多くても質の良い商品を求める傾向にある。
		衣料専門店	地元振興組合で近代化資金を導入し、街路整備及び個店の店舗を一新いたしました。ところが、一業者倒産し、元金に対する違約金、10.73%の高率に、組合員非常に困っております。
		一般小売店	1・2月は豪雪のおかげで大変業績がきびしかった。3月は持ち直したものの、地方経済では、東北なら仙台、北海道なら札幌という一極集中型で、厳しさを増している。
		商店街	合併した岩木町、相馬村の集客を見込んだ、大型SCの概要が新聞に掲載され動き出した事から、当中心商店街に対する影響が今後懸念される。
		一般飲食店	4月16日に市長選があり、新市長に期待しています。
		スナック	客足を減らさないために、仕入れをいかに切り詰めるかに苦労しています。
		観光型ホテル・旅館	都心の方は景気が回復のきざしがあるというが、地方には全然波及していない様に見受けられる。
		都市型ホテル	格安ビジネスホテルがまもなく開業する。更に安価販売のホテルが出来る。既存施設はハード、ソフト両面での対応を迫られる。
旅行代理店		2月の住宅着工のない市があった事に現在の経済状態の実態を考えさせられました。	
美容院	ネイル、プチエステやマツ毛カールなど、プラスの贅沢メニューも出始めた気配。		

家計	津軽	設計事務所	中央の政策にすべて協力するのではなく、何か、付加価値をつけて取り決めをすべきではないか。	
	県南	百貨店	中心商店街活性化のため、行政の積極的な政策推進を望む。	
		スーパー	今後、高齢化の問題が他県より早く深刻になると思います。	
		乗用車販売	預金金利が上がり、1年もの定期で2倍とはいうもののベースが低いために大した利息にはならないが、それでも明るい話ではある。金利に対してのお客様の反応がかなり有る。厳しい時代なのでシビアになっていると思う。	
		一般小売店	県民所得が沖縄に次いで全国のワースト2だと言う事ですが、冬期間の暖房費・除雪・スタッドレスタイヤ等、日常生活費がかさんで特に灯油の高かった今シーズンは沖縄よりも大きく所得が下回っているはず。全国一ピンボウな中でがんばりましょう！	
		卸売業	体力のある企業は残るが、体力の弱い企業はさらに消えていくことが予想され景気対策が望まれる。	
		一般飲食店	今こそ民に対する官（行政）のサポートが大事では！	
		レストラン	当店は新幹線の駅に近いが、5年後の新青森延伸で、単なる通過駅にならないか心配である。身の回り（八戸地方）の経済状況の変化に関連してくると思われる。	
		スナック	世間の話ではまだまだ不景気が続くとの事で大変な世の中になる。	
		観光名所等	景気が上向き傾向にあると言われてはいますが、主人の給料が今年もさがるそうです。建設業です。12年間、給料が増えた事はありません。	
		タクシー	新市長に期待をしているけれども、堅実なこともいいけれど、パフォーマンスで、市を明るくするところがあってもいい。	
		美容院	八戸の郊外型の大型店舗の駐車場は空きのない位、一日中満杯なのを見て、人の動きの活発な現象に驚いています。街中の商店街に楽しさを感じないのが心配です。	
		住宅建設販売	複合型のショッピングセンターがオープンし、また、別のエリアで計画が進んでいる。流通関係が元気いい。	
	下北	一般小売店	先日新聞で土建会社の農業転換という記事を読みました。確かに公共事業に期待できない今の状況では有効だと思いました。自然豊かな下北ですから、それを生かした一次産業に力を入れていけば、景気も良くなっていく気がします。	
		一般飲食店	東京近辺等とても景気がよいそうですが、こちらはまだまだ先が遠いと思います。遠いと云ったところでこれ以上良くなる見通しが何もありません。これ以上悪くだけはなって欲しくないです。	
		レストラン	不安な生活からいつ解放されるのでしょうか。	
		タクシー	特に建設関係の倒産・事業縮小による失業者の急増がみられるようです。	
	企業	東青	食料品製造	仕入先から、原油高騰の影響による、原材料の値上げ要請が増加している。
			建設	建設業の倒産が続発しているものの、新開業も続出し、業者数過多状態の解消が見えて来ない。 新参入が容易な業種という事情はあるのだが・・・。
経営コンサルタント			新入社員研修会の参加者が多くなってきている。経営者が先行き回復を期待しているものと思われる。	

企業	津軽	飲料品製造	今年の梅の蕾はぶんと膨らんでいっぱいだ。りんごも近年にないくらい蓄をつけ大豊作の予兆を感じる。	
		電気機械製造	原材料となる金属（銅、亜鉛）が高騰しており利益を圧迫しています。	
		建設	現在弘前市は市長選挙の真っ最中です。3市町村が合併して初の選挙です。現職か、改革か、今後の弘前市の行方を期待しています。	
		経営コンサルタント	弘前は観光と農業の占める比率が高く天候に左右されやすい。	
		広告・デザイン	中央の同業者は仕事が多く繁盛との事。マスコミ報道による地方格差を感じ、当分はこの状況が続くのでは。	
	県南	飲料品製造	東京は景気が良いといえます。東京の方に会いました。原宿・六本木・銀座を流れる河があるとすれば、その流域のみとのこと。流域外地域は全くそうではないと言っておりました。インダス文明の様な話ですが、本当ですかね。	
		紙・パルプ製造	エネルギーコスト高騰の中、2月中旬以降比較的暖かい日が多く、コスト面でプラスに働いた。	
		電気機械製造	中京東海地区では自動車関連を中心とした製造業の好調で人手不足が顕著になっている。青森としてはチャンスだと思えます。	
		建設	状況はかなり深刻と言わざるを得ない。公共工事の発注の端境期の4～6月が心配である。	
		経営コンサルタント	大企業関連の設備投資が増えている。公務員給与が下がっている。- 購売力 - 消費低迷	
		広告・デザイン	起業する数も多いが、トラブルや倒産が多く、仕事は欲しいが、取引も考えてしまう。	
	雇用	東青	人材派遣	一定のスキルを持った人材が不足している。ハローワーク等募集に対しても動きが鈍い。
			新聞社求人広告	国・県・市町村など多額の除排雪費が使われたが、市中に環流することに期待したい。
		県南	新聞社求人広告	日銀青森支店は「1年3ヶ月ぶりに県内景気を上方修正」と報道されているが、実感するようなことが少ない。